



きょうのテーマ

みんなは、どんな動物が好きかな？ 仙台市八木山動物公園フジサキの杜（太白区）には107種、約520匹の動物がいるんだって。今回は、動物たちの身の回りの世話をする飼育員の仕事を紹介するよ。

（8面に関連記事）

「今日も元気に過ごしているかな」。サル・ラクダ班の山本渉さん（29）は午前8時半に出勤し、事務所で打ち合わせをしてから、動物の世話に向かいます。

飼育員になって2年目。担当する動物は、ニ

八木山動物公園の飼育員

ホンザル、チンパンジー、ラクダ、ラマ、カンガルーなど12種類で、合計で約100匹もいます。山本さんを含むメンバー4人で手分けして餌やりや掃除をします。

朝の大事な仕事のひとつが、動物の健康チェックです。餌への食いつき、うんちの状態、動きが鈍くないかなど動物の様子を確認します。普段と異なるところ、心配なことがあれば園の獣医師に相談します。



「動物は、人間と違ってしゃべれません。飼育員が察するしかないの、普段からよく見るように心掛けています」と山本さんは話します。

午前は朝の餌やり、屋外展示場への移動、寝室の掃除といった作業に追

われ、午後もしの餌やり、寝室の準備など、やることはたくさんあります。事務所に帰るのは午後5時ごろで、日誌を書いて一日の仕事が終わります。



動物の魅力伝えるのも、飼育員の大切な役割です。八木山動物公園が実施する学習プログラム「動物マスターになろう！」では、飼育員が直接、子どもたちに動物の体の特徴を解説します。

山本さんはラクダの担当です。食べ物が少ない砂漠でも生活できるよう、こぶに脂肪を蓄えていることを説明すると、子どもたちも興味を持って聞いてくれます。

このほか、木などを使

い、動物の特徴を引き出す遊具を作ることもあります。山本さんは「工夫次第でいろんなことがで

きるのも飼育員の魅力。動物好きな人に向いている仕事だと思っています」と話します。



ラクダに餌をあげる山本さん
11月10日、仙台市太白区の八木山動物公園

よく見て健康をチェック

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ



この日 何の日

◇5日（水）津波防災の日

東日本大震災を機に内閣府が制定しました。日付は1854年のこの日に発生した安政南海地震で、和歌山県の浜口梧陵が稲に火を放ち、村人を安全な場所に避難させた逸話「稲むらの火」にちなみます。

きょうの紙面

- 2面 みんなのギモンに こたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 山本渉さんに聞く